

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第 10 号)のトピックス

****流行注意報発出中****

- 50週(12月9日～12月15日)のインフルエンザ患者報告数は6,972人、
 定点当たり 16.84人(去年同期 定点当たり 2.68人)
- 50週のインフルエンザ様疾患による集団発生事例は297件
- 全国の定点当たり患者報告数は定点当たり 15.62 人

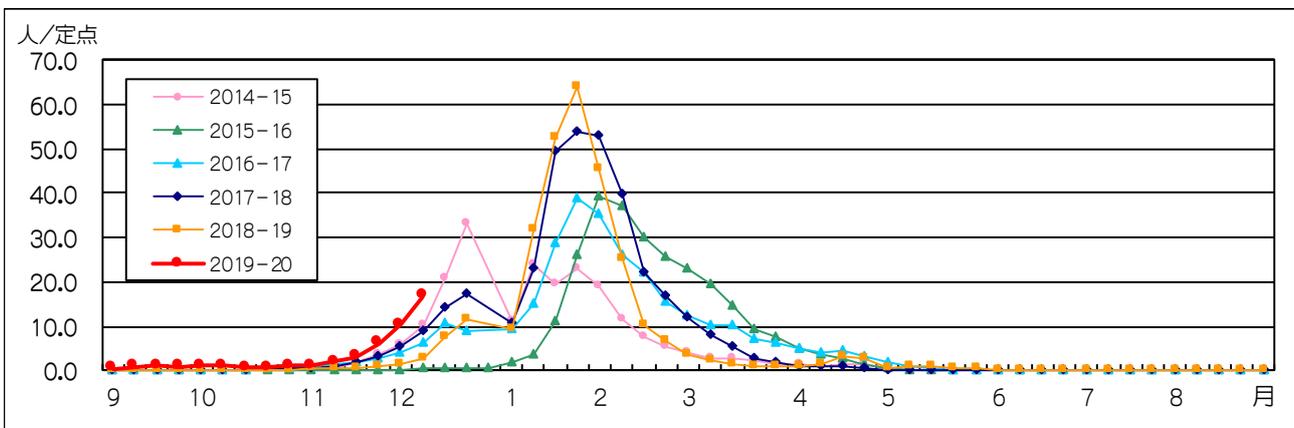


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移(東京都)

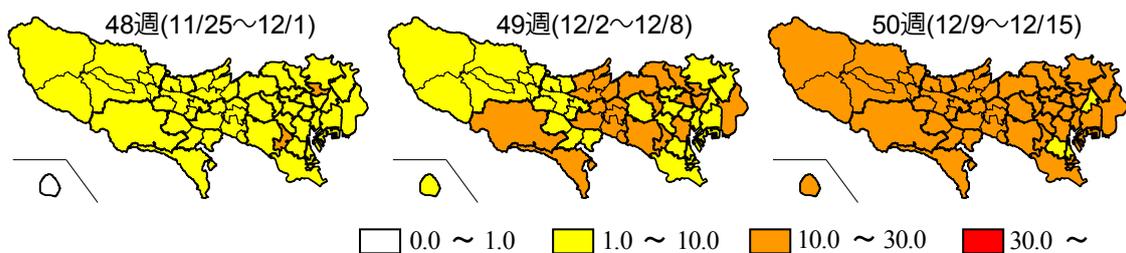


図2. 保健所別定点当たり患者報告数(48～50週)

1 インフルエンザ患者発生状況

第50週(12月9日～12月15日)

【東京都】インフルエンザ定点*からの患者報告数は6,972人、定点当たり16.84人で、49週の定点当たり10.36人から増加しました(図1)。島しょ(26.50人/定点)、町田市(25.62人/定点)、八王子市(24.28人/定点)、中野区(22.50人/定点)をはじめとする29保健所管内で注意報レベルである10

人/定点を超えています(図2)。

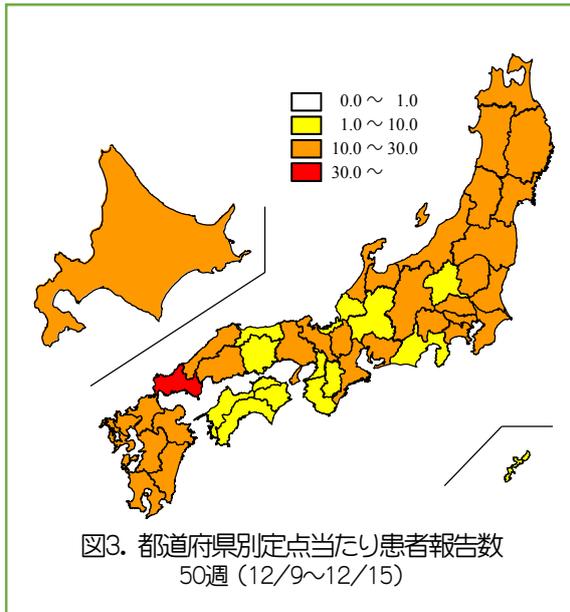
【全国】患者報告数は77,425人、定点当たり15.62人で、49週(47,200人、9.52人/定点)より増加しました。山口県(31.94人

* インフルエンザ定点

419か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

** 基幹定点

25か所(全国約500か所)の医療機関を「基幹定点」として指定しています。



／定点)は定点当たりの患者報告数は30人を超えています。その他、北海道(29.76人／定点)、宮城県(26.69人／定点)、青森県(24.14人／定点)をはじめとする32都道府県で定点当たり報告数が10人を超えています。残る14府県でも、全ての自治体で定点当たり報告数が1人を超えています。

2 インフルエンザ集団発生状況

50週に、学級閉鎖等が297件(保育所57件、幼稚園14件、小学校194件、中学校25件、医療機関1件、社会福祉施設6件)報告されました(図4)。

3 インフルエンザ入院患者発生状況

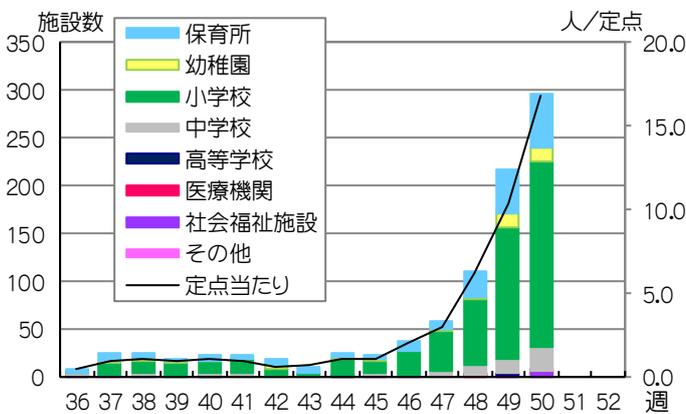
基幹定点**から50週に69件報告がありました。

4 ウイルス検査情報

【東京都】 48週に、定点医療機関から搬入された検体16件中14件からAH1pdm09が検出されました。

【全国】 病原微生物検出情報(IASR)等によると12月19日までに42都道府県からAH1pdm09が、14都道府県からAH3亜型が、17道府県からB型(ビクトリア系統16道府県、山形系統1県)が報告されています(図5)。抗インフルエンザ薬剤耐性株サーベイランスの結果について国立感染症研究所ホームページに掲載されました。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/influ-resist.html>



厚生労働省「感染症・予防接種相談窓口」

厚生労働省が、インフルエンザを始めとした感染症の一般的予防方法、流行状況や予防接種の意義、有効性、副反応等に関する問い合わせ窓口を開設しました。

電話番号：03-5276-9337

午前9時～午後5時 土日祝日、年末年始を除く

(厚生労働省が業務委託している民間会社により運営)

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL：03-3363-3213

FAX：03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>

